

平成28年第1回嬉野市議会定例会

一般質問通告書

嬉野市議会

平成28年第1回嬉野市議会定例会一般質問通告書

発言 順番	議席 番号	質問者氏名	質 問 事 項 及 び 要 旨	頁番号
1	10	山口 政人	水道事業について	1
2	9	山下 芳郎	新幹線西九州ルートフル規格化について	2
			新幹線駅前構想の進捗状況と今後の対策について	
			まちづくり構想について	
			児童虐待の対応について	
			吉田公民館を指定管理者へ	
			小中学校の再編成について	
			農業法人化とブランド化について	
			高齢者の表彰制度について	
3	5	森田 明彦	源泉集中管理について	4
			小規模企業振興について	
			財政問題について	
			民泊問題について	
4	11	芦塚 典子	医療ツーリズム整備について	5
			小・中学校英語教育について	
			キャリア教育について	
5	8	田中 平一郎	公共施設マネジメントについて	7
			中山間地の活用について	
			嬉野市商店街（嬉野地区・塩田地区）について	
			企業誘致について	
			観光客誘致について	
			新幹線の嬉野温泉駅について	
新幹線の駅周辺の整備について				

発言 順番	議席 番号	質問者氏名	質 問 事 項 及 び 要 旨	頁番号
6	7	山口 忠孝	観光地と地域振興(まちづくり)について	9
			リバティの駐車場問題について	
7	3	川内 聖二	空き家対策について	10
			塩田川の遊歩道について	
			道路(県道・市道)の維持管理について	
8	6	辻 浩一	公共施設のUD化について	11
			道路の管理(冬季)について	
			新幹線開業に向けての今後の対応について	
			中学校のクラブ活動の今後について	
9	12	大島 恒典	新幹線について	12
			結婚支援について	
			県道下宿-塩田線について	
10	16	西村 信夫	産地パワーアップ事業について	13
			ふるさと納税について	
			下水道整備について	
11	4	増田 朝子	行政区の見直しについて	14
			市民参加について	
			子どもの貧困について	
12	2	宮崎 良平	県道嬉野大村線について	15
			有害鳥獣対策について	
			免税店について	
13	14	田中 政司	観光振興対策について	16
			茶業振興対策について	
			電力企業検討について	

発言 順番	議席 番号	質問者氏名	質 問 事 項 及 び 要 旨	頁番号
14	13	梶原 陸也	ピロリ菌検査費用助成制度について	17
			障がい者雇用と障害者優先調達推進法について	
			音声コードの活用について	
15	1	生田 健児	民泊について	18
			コンパクトシティ化への取り組みについて	
16	17	山口 要	財政問題について	19
			総務問題について	
			新幹線関連問題について	
			企画問題について	
			観光問題について	
			福祉問題について	
教育問題について				
一 質 日	般 問 程	3月3日	山口政人、山下芳郎、森田明彦、芦塚典子、田中平一郎	
		3月4日	山口忠孝、川内聖二、辻浩一、大島恒典、西村信夫	
		3月7日	増田朝子、宮崎良平、田中政司、梶原陸也、生田健児、山口要	

一 般 質 問 通 告 書

下記のことについて、嬉野市議会会議規則第61条第2項の規定により一般質問の通告をいたします。

平成 28 年 2 月 15 日

通告者(議席番号 10 番)

山口 政 人

嬉野市議会議長 様

記

NO 1

質問の相手	質問の事項	質問の要旨
<p>市長 (嬉野市 水道事業)</p>	<p>水道事業について</p>	<p>道路インフラなどと同様に、生活に欠かすことのできない嬉野市水道事業の方向性を示す水道ビジョンの内容について伺う。</p> <p>① 「嬉野市水道ビジョン (平成 18～29 年度)」の策定から 10 年が経過しようとしているが、現在の進行状況は。</p> <p>② 財政状況の今後の見込みは。</p> <p>③ 上水道と簡易水道との統合の今後の考えは。</p> <p>④ 水道管の老朽化と更新の状況は。</p> <p>⑤ 水道料金改定の考えは。</p>

下記のことについて、嬉野市議会会議規則第61条第2項の規定により一般質問の通告をいたします。

平成 28年2月 15日

通告者(議席番号 9番)

山下 芳郎

嬉野市議会議長 様

記

NO. 1

相手	質問の事項	質問の要旨
市長	新幹線西九州ルート フル規格化について	新幹線西九州ルートの開業が大幅に遅れるとの報道を受けて、フル規格への転換と地元負担金の軽減を要望する決起大会を開催する考えはないか。
市長	新幹線駅前構想の進捗状 況と今後の対策について	駅前構想の進捗状況について ①医療センターの駅前移転も含め土地利用計画の進捗状況を伺う。 ②温泉を駅まで引く計画はどう進んでいるのか。 ③企業誘致ビル構想を伺う。
市長	まちづくり構想について	医療センター跡地計画を伺う。
市長 教育長	児童虐待の対応について	幼児の虐待が頻発しているが、当市の児童虐待防止対策を伺う。 ①虐待による幼い命を守るために早期発見と相談窓口、連絡方法は どうなっているか。 ②全国で起きた事件を受けて教訓とか対応に取り入れることはないか。 ③小中学校の教育現場での対応を伺う。 ④相談窓口地域コミュニティを利用できないか。
市長	吉田公民館を指定管理へ	①吉田公民館の全業務(市民窓口業務、公民館業務、地域コミュニティ業務)を地域コミュニティで一本化し、地域へ委託する考えはないか。 ②地域コミュニティが収益事業を行うことは可能か。 ③下吉田区まで「福祉バス(ヨッシー号)」の運行の範囲を広げられないか。

相手	質問の事項	質問の要旨
市長 教育長	小中学校の再編成について	下吉田区の小学生、中学生を吉田小学校、吉田中学校へ入学の編入ができないか。
市長	農業法人化とブランド化について	TPPを見据えた農業政策に農業法人化とブランド化があるが、人気のある「吉田米」についてブランド実証ができるコメの育成が必要ではないか。また、第三共乾でまとまって法人化ができないか。
市長	高齢者の表彰制度について	元気な長寿高齢者の表彰制度が考えられないか。
市長	源泉集中管理について	源泉集中管理の進捗状況を伺う。 ①進んでいないことの問題はなにか。 ②市長の任期中に実施する覚悟はあるか。 ③合併特例債の期限が迫っているが完工の目途を伺う。
市長 教育長	中学生の自転車通学に対応について	①中学生の自転車通学の状況を伺う。 ②自転車を利用する通学生へのヘルメット等の補助ができないか。

一般質問通告書

下記のことについて、嬉野市議会会議規則第61条第2項の規定により一般質問の通告をいたします。

平成 28年 2月 15日

通告者(議席番号 5番) 森田明彦

嬉野市議会議長 様

記

質問の相手	質問の事項	質問の要旨
市長	小規模企業振興について	<p>① 平成 26年 6月、「小規模企業振興基本法」が成立し、国と全ての自治体に小規模企業への支援が責務として明確化されたが、市の認識を伺う。</p> <p>② 平成 11年に改正された中小企業基本法との大きな違いは何だと認識されるか伺う。</p> <p>③ 小規模企業振興基本法の理念に基づき、小規模企業振興条例の制定を急ぐべきと考えるが如何か。</p>
市長	財政問題について	<p>① 政府・日銀によるマイナス金利政策で、資産運営上、市で購入の国債等に関して受ける影響はどうか。</p> <p>② 臨時財政対策債は 2001年から国が保障するとした赤字地方債の1つであるが、いつまで続く見込みか伺う。</p> <p>③ 臨時財政対策債は国が地方交付税措置(補填)している。また、合併特例債では国が返済の70パーセントを負担するとの事である。国と地方で1,000兆円を越える債務を抱えている現状で、全国の自治体へ確実に補填措置が出来るか疑問を持つが見解を伺う。</p>
市長	民泊問題について	<p>厚労省では、「国家戦略特区」における特例として、民泊を4月施行に向けて簡易宿所として認可基準を緩和する方向である。嬉野温泉の旅館ホテルへの影響等心配されるが、状況とその対策がなされているかを伺う。</p>
市長	医療ツーリズム整備について	<p>政府は、6月にまとめる新成長戦略に盛り込み、医療ツーリズム体制を整える計画だが、嬉野市として取り組む計画があるか伺う。</p>

下記のことについて、嬉野市議会会議規則第61条第2項の規定により一般質問の通告をいたします。

平成 28年 2月 15日

通告者(議席番号 11 番)

芦塚 典子

嬉野市議会議長 様

記

NO.1

質問の相手	質問の事項	質問の要旨
市長 教育長	1 小・中学校英語教育について	<p>学校での英語教育は、将来的に「英語で討論・交渉できること」をめざした実践的な英語教育へと変化し、今まで5年生から必修化されていた英語は、3年生から必修化され、小学校3年生から本格的な学習への準備として英語に親しみ、5・6年生では「教科化」が予定されている。英語が教科化されるということは、テストが行われ、通知表には数値による成績が付くということで小学校5・6年生では中学校の学習内容が一部前倒しになると考えられる。</p> <p>① 小学校での英語教育の現状と今後どのように計画されていくか伺う。</p> <p>② 中学校では「読む」「書く」学習にプラスして、英語で授業を行うことが基本にという指導方針が採用される予定である。このように英語教育に対する変化に対してどのように対処していかれるか伺う。</p> <p>③ 現場の教師の英語教育への対応は十分にできるのか。</p> <p>④ ネイティブの先生を多く雇用し英語教育に力を入れることが理想ではあるが、財源の問題がある。「学校ファンド」を創設し財源確保をしてはどうか。</p>
市長 教育長	2 キャリア教育について	<p>佐賀県では他県に先駆けた先進的な取り組みとして起業家精神(アントレプレナーシップ)の涵養教育(起業家教育)に取り組んでおり、これまでは主に大学・社会人などの起業家をめざす若者に対して実施されていたが、小学生・中学生・高校生の授業にも導入し、自ら考え、自ら学び、自ら行動するという「生きる力」と「人とつながる力」を養成するキャリア教育を実施している。</p> <p>① 市のキャリア教育に対する実施状況と今後の方向性を伺う。</p> <p>② 社会状況の変化に伴い、キャリア教育の必要性がクローズアップされつつある現状において、キャリア教育の導入においては多忙な先生を助けるキャリア教育コーディネーターが必要かつ効果的であるが、市としての方向性は。</p>

質問の相手	質問の事項	質問の要旨
市長 教育長		<p>③ 教育は次の世代の人材をつくる重要な施策である。教育に対する安定した財源確保ができないか。</p>
市長	3 公共施設マネジメントについて	<p>昨今、公共施設の老朽化問題がクローズアップされているが、全国自治体共通の大きな問題でもあり、多くの自治体では公共マネジメントの取り組みが進められている。当市は合併後10年を経過した現在、合併前より保有していた施設を効率的・一元的に管理していく必要があるが、これらの施設は老朽化に伴い、施設の修繕に要する経費は年々増加する傾向にあり、このことが財政上の負担となっていくと思われる。当市としては、これらの公共施設の老朽化の問題にどのように対処していかれるか伺う。</p> <p>① 市の所有する公共施設はどれくらいあるか。</p> <p>② 築20年、築40年、築50年以上を経過した公共施設はどれくらいあるか。</p> <p>③ 今後同規模の公共施設を建て替えた場合の費用は、平成30年以降に更新費用が増大するが、計画期間を15年とした場合、平成42年度の費用額はいくらか。また今後40年間の更新費用はいくらか。</p> <p>④ 長期的な施設更新の課題解決を図るため、公共施設を効率的に一元管理する必要があるのではないか。</p> <p>⑤ 平成42年の目標人口を2万6千人（コーホート要因法では2万4539人）と設定した場合、今後40年間で施設のあり方や規模（総面積に対する）の見直しはどの程度図られるか。</p> <p>⑥ 財政計画を策定する際に、公共施設の老朽化等の問題については長期的にどのように計画されてきたのか。</p> <p>⑦ 公共施設マネジメントは市民とのコンセンサスが重要である。市民に見える形（見える化）でどのように計画されるのか。</p> <p>⑧ 公共施設マネジメントを推進するうえで、公共施設白書を策定し、ホームページで公開する必要があるのではないか。</p>

様式1号

一般質問通告書

下記のことについて、嬉野市議会会議規則第61条第2項の規定により一般質問の通告をいたします。

平成28年2月16日

通告者 (議席番号 8番) 田中平一郎

嬉野市議会議長 様

記

NO.1

質問の相手	質疑の事項	質問の要旨
市長		<p>さる1月31日に嬉野市制施行10周年記念式典が行われ、佐賀県知事をはじめ隣接する市町村の来賓を迎え、無事終了した。又、郷土芸能等盛りだくさんの行事も行われ、素晴らしい式典であったと思う。10周年を迎え、市長は今後の市政をどの様に進めて行かれるのか、また当選時に掲げられた政策についてお伺いしたい。</p> <p>農業問題、商業問題、工業問題および新幹線など色々な問題が山積している。日本一魅力的な嬉野市を目指すならば、これらの問題をひとつひとつ解決していかなければならないと思うが、市長はどの様に考えておられるのか、次の6点を質問する。</p>
	中山間地の活用について	農業所得が少しでも向上出来る様な作物は、何が考えられるか。
	嬉野市商店街（嬉野地区・塩田地区）について	市長は「日本一魅力的な商店街を目指す」と政策に掲げているが、どのような商店街を目指していくのか。
	企業誘致について	① 「企業誘致を積極的に行い、500人以上の雇用増加を目指す」としているが、現状はどうか。 ② 企業を誘致するための今後の方針を伺う。

質問の相手	質 疑 の 事 項	質 問 の 要 旨
市長	<p data-bbox="405 331 727 376">観光客誘致について</p> <p data-bbox="405 524 727 613">新幹線の嬉野温泉駅について</p> <p data-bbox="405 761 727 851">新幹線の駅周辺の整備について</p>	<p data-bbox="753 331 1442 465">以前より観光客は増加していると思うが、今後観光客の増加を図るにはどのような対策が求められると考えるか。</p> <p data-bbox="753 524 1442 703">嬉野温泉駅のデザインについては、「日本一のユニバーサルデザインで人にやさしい駅の実現を目指す」としているが、どのようなものを考えているのか。また、現在の状況を伺う。</p> <p data-bbox="753 761 1442 851">嬉野温泉駅周辺の整備の構想はどのように考えているのか。</p>

一般質問通告書

下記のことについて、嬉野市議会会議規則第61条第2項の規定により一般質問の通告をいたします。

平成28年2月18日

通告者(議席番号 7番)

山口 忠孝

嬉野市議会議長 様

記

NO 1

質問の相手	質問の事項	質問の要旨
市長 教育長	観光と地域振興(まちづくり)について	① 商店街(嬉野地区)の空き店舗調査結果と今後の方向性についてどのように考えているか。 ② 伝建地区(塩田地区)内の空き家の状況と今後の方向性についてどのように考えているのか ③ ヘルスツーリズムや健康保養地構想の推進のための「日本クアオルト協議会」という自治体同士の組織があるが、検討や研究をされたことがあるか。 ④ これからは、まちづくりのための手段として観光を活用することが必要であり、民間主導で進めるべきだと考えるが、どのように思われるか。
市長	リパティの駐車場問題について	① これまでのイベント等で駐車場に関する問題は発生していないか。 ② 隣のスーパーの駐車場の一部をイベント時には貸してもらおうよう相談はなされたか。

一 般 質 問 通 告 書

下記のことについて、嬉野市議会会議規則第61条第2項の規定により一般質問の通告をいたします。

平成28年 2月19日

通告者(議席番号 3 番)

川内 聖二

嬉野市議会議長 様

記

質問の相手	質問の事項	質問の要旨
市長	空き家対策について	<p>空き家対策の推進に関する特別措置法が今年の5月に施行され適切な管理が行われていない空き家が災害、衛生、景観等で地域住民の生活環境に深刻な影響を及ぼしており、地域住民の生命、身体、財産の保護、生活環境の保全、空き家等の活用のため対応が必要と定められた。</p> <p>嬉野市においては、平成24年度の調査では、約450軒の空き家があり、現在4軒が倒壊の恐れのある危険物件と伺っている。倒壊の恐れのある空き家に隣接している方々は普段より台風や大雨また地震等の自然災害が来るたびに、いつ我が身に降りかかるかと心配されている。そこで市としては何らかの対応をとられたと思うが次のことを伺う。</p> <p>① これまで嬉野市で撤去された危険な空き家について。 ② 現在、放置状態の倒壊の恐れのある空き家について。</p>
市長	塩田川の遊歩道について	<p>嬉野町の塩田川には、轟の滝公園からシーボルトの湯まで河川沿いに素晴らしい遊歩道が整備してある。当時、県の河川整備事業とし遊歩道を整備する工事を数年掛けて行われた昨年、新しく嬉野市の観光施設として温泉公園を全体に望める展望所も完成したがそこで次のことを伺う。</p> <p>① 展望所までを結ぶ遊歩道の整備を県に要望すると聞いたが、その後どのようなになったか。 ② 今後の塩田川の整備等については構想があるか。</p>
市長	道路(県道・市道)の維持管理について	<p>道路の維持管理は、道路自体の維持から道路沿いの除草作業等多岐にわたる。今年も1月24日に大雪が降り臨時的にも大変だったと思う。毎年定期的に同じような維持管理をしなければならないと思う。そこで次のことを伺う。</p> <p>① 道路の路肩の除草について。 ② 降雪時堆積した雪の融雪作業について。</p>

一 般 質 問 通 告 書

下記のことについて、嬉野市議会会議規則第61条第2項の規定により一般質問の通告をいたします。

平成 28 年 2 月 19 日

通告者(議席番号 1 番) 辻 浩 一

嬉野市議会議長 様

記

NO 1

質問の相手	質問の事項	質問の要旨
市長	公共施設のUD化について	<p>公民館の活用はコミュニティー活動や高齢者教室など、様々な年齢層の利用が多い。特に高齢者の活動について支障がないか次の事を伺う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 高齢者の活動を促す理由は ② 塩田・嬉野・吉田公民館のUD化の状況は ③ 今後の整備の計画は ④ 駐車場の確保は
市長	道路の管理(冬季)について	<p>今季十数年ぶりの積雪となった、県道・市道の積雪の対策はどうなっているのか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 県道の管理の手順は ② 市道の管理の手順は ③ 積雪の状況把握はどうしているのか ④ 塩カル等の地域への委託は出来ないのか
市長	新幹線開業に向けての今後の対応について	<ul style="list-style-type: none"> ① 新幹線西九州ルートの上り下りについての所感を伺う ② フル規格化について国・県の動きをどう考えるか ③ 予算だけではなく沿線自治体には様々な問題があると思うが、沿線自治体の首長含め動きはどうなっているのか ④ フル規格化に向けて国へ声を上げる時期ではないのか
教育長	中学校のクラブ活動の今後について	<ul style="list-style-type: none"> ① 他校との合同チームの位置づけはどうなっているのか ② 合同チームでの県大会・全国大会への出場は可能か ③ 個人的に他校のクラブへの登録・練習参加は可能か

一般質問通告書

下記のことについて嬉野市議会会議規則題6 1 条第2 項の規定により一般質問の通告をいたします。

平成28年 2月22日

通告者 (議席番号 12 番) 大島恒典

嬉野市議会議長 様

記

NO.1

質問の相手	質問の事項	質問の要旨
市長	新幹線について	<p>① 九州新幹線長崎ルートの開業時期について2025年春以降になるとの報道がなされたが、この問題について市長の考えを伺う。</p> <p>② 開業が遅れることによる嬉野市の影響についてどのようなことが考えられるのか。</p> <p>③ 開業時期の問題はあるが、市としては駅舎・周辺整備について急ぐ必要があると考える。今後の計画について伺う。</p>
市長	結婚支援について	<p>昨年末、結婚支援事業の今後に向けて文教福祉常任委員会より政策提言をさせていただいたが、その後の経緯について伺います。</p>
市長	県道下宿一塩田線について	<p>現在工事が進められている県道下宿一塩田線の今後の計画について伺います。</p>

一 般 質 問 通 告 書

下記のことについて、嬉野市議会会議規則第61条第2項の規定により一般質問の通告をいたします。

平成 28 年 2 月 22 日

通告者(議席番号 16 番)

西 村 信 夫

嬉野市議会議長 様

記

NO 1

質問の相手	質 問 の 事 項	質 問 の 要 旨
市 長	産地パワーアップ事業について	① 本事業は地域が一丸となって収益力強化に計画的に取り組む産地に対し、総合的に支援するとしているが、事業の概要と本市の産地パワーアップ計画の取り組みを伺う。 ② 産地パワーアップ事業の助成対象及び補助率について伺う。 ③ 産地パワーアップ事業と強い農業づくり交付金事業との事業区分を伺う。
市 長	ふるさと納税について	① ふるさと納税が創設された経緯と平成27年度の今現在、本市の寄附額及び件数はどのようになっているのか。また今後の課題はどのようなものか。 ② ふるさと納税の対応で企画政策課として本来の業務が遂行されているのか。 ③ 寄附金の活用について本市の取り組みを伺う。
市 長	下水道整備について	① 本市の公共下水道、集落排水事業、市営浄化槽の接続及び整備状況を伺う。 ② 各事業の接続推進に向けての取り組みを伺う。 ③ 未整備地区の単独処理浄化槽から合併浄化槽への転換促進を図るため転換支援の検討を考えられないか。

下記のことについて、嬉野市議会会議規則第61条第2項の規定により一般質問の通告をいたします。

平成 28 年 2 月 22 日

通告者(議席番号 4 番)

増田 朝子

嬉野市議会議長 様

記

質問の相手	質問の事項	質問の要旨
市長	行政区の見直しについて	<p>少子高齢化が進み、効率化を図るために県内でも学校、官公庁関係の統合が進められている。本市でも合併 10 周年を機に効率化を図るため、あらゆる方面で行政改革を進めていく必要があると思われる。そこで、今回は行政区について何う。</p> <p>① 合併協議会での取り決めとその後の経過は。 ② 行政嘱託員の職務は何か。 ③ 行政嘱託員は区長との兼任だが職務の違いは何か。 ④ 行政区の見直し検討委員会の設立は考えられないか。</p>
市長	市民参加について	<p>① 平成 27 年 11 月に開催された「第 3 回全国健康都市めぐり in 嬉野」に合わせて作成された「ゆっつらくん体操」だが、その後は市民に対しどのように普及しているか ② 嬉野市の市歌として誕生した「ふるさとの空よ」をこれからも多くの市民に愛唱してもらうために市民上げて合唱のイベントをしてはどうか。</p>
市長 教育長	子どもの貧困について	<p>2014 年 7 月に厚生労働省の国民生活基礎調査で 6 人に 1 人にあたる 16.3%の子どもが貧困状態にあると発表された(2012 年時点)。そこで、本市における「子どもの貧困」について何う。</p> <p>① 「子どもの貧困」についての定義を何う。 ② 状況把握はできているか。 ③ 支援策としてどのようにしているか。</p>

下記のことについて、嬉野市議会会議規則第61条第2項の規定により一般質問の通告をいたします。

平成 28 年 2 月 22 日

通告者(議席番号 2 番)

宮崎 良平

嬉野市議会議長 様

記

NO 1

質問の相手	質 問 の 事 項	質 問 の 要 旨 (具体的に)
市 長	県道嬉野大村線について	①これまでの要望活動と現在の進捗状況を伺う ②今後の取り組みについて伺う
市 長	有害鳥獣対策について	有害鳥獣における農作物被害及び人的被害に対するこれまでの対策と今後取り組むべき抜本的な対策について伺う
市 長	免税店について	取り組みから一年以上経過した免税店への支援だが、現在の進捗状況と今後について伺う

一 般 質 問 通 告 書

下記のことについて、嬉野市議会会議規則第61条第2項の規定により一般質問の通告をいたします。

平成 28年 2月 22日

通告者(議席番号 14番)

田中 政司

嬉野市議会議長 様

記

NO 1

質問の相手	質問の事項	質問の要旨 (具体的に)
市長	観光振興対策について	<p>「嬉野市まち・ひと・しごと創生総合戦略」においても基本目標の1番目に「嬉野市に住みたい・行きたい“ひと”の流れを作る」を掲げ交流人口(観光客数)の目標値を平成31年には225万8000人と設定し、様々な施策に取り組むとされている。</p> <p>① これからの嬉野を支えていくのは若者たちである。そのための「人づくり」について市長の考えを伺う。</p> <p>② 源泉集中管理についてはモニタリングシステムを導入することで完結と考えているのか。</p> <p>③ カード社会が進む中、インバウンド対策としても、免税店やカード利用のできる商店街の構築が必要と考えるが如何か。</p> <p>④ 桜の季節には嬉野の名所ともいえる、嬉野川河畔の桜並木については樹齢が相当進んでいるが今後どうするのか。</p>
市長	茶業振興対策について	<p>① ジェトロ佐賀との連携により嬉野茶の海外への販路開拓をおこなっているが、現在の問題点と今後の課題について伺う。</p> <p>② 全国品評会等において、産地賞は受賞しているものの個人での農林水産大臣賞がここ数年受賞できていない。これからの対策はどうするのか。</p> <p>③ 28年度に造成工事が行われる予定の「うれしの茶交流館」についてのこれからの計画はどうなっているのか。</p>
市長	電力企業検討について	<p>電力自由化に伴い様々な企業が売電事業に乗り出しており、電気料の単価もそれぞれ違っている。電力企業の利用については、市としても財政的に有利であれば検討に値すると考えるが如何か。</p>

一般質問通告書

下記のことについて、嬉野市議会会議規則第61条第2項の規定により一般質問の通告をいたします。

平成 28 年 2 月 22 日

通告者(議席番号 13 番) 梶原 睦也

嬉野市議会議長 様

記 NO 1

質問の相手	質問の事項	質問の要旨 (具体的に)
市長 教育長	ピロリ菌検査費用助成制度 について	<p>嬉野市では他自治体に先駆けて胃がん予防対策として「嬉野市ピロリ菌感染検査費用助成事業」と健康づくり検診のオプションとして「ABC検査費用助成」を創設している。</p> <p>① 両事業の受診状況は。</p> <p>② 今後の受診啓発についてはどう考えるか。</p> <p>③ 健康づくり検診事業とABC検診の拡充についてはどう考えるか。</p> <p>④ 佐賀県は今年度より中学3年生に対しピロリ菌検査費用と除菌費用の助成制度を導入するとの発表があったが県からの詳細説明等はなされているのか伺う。</p>
市長	障がい者雇用と障害者優先 調達推進法について	<p>障がい者の雇用状況について伺う。</p> <p>① 市内障がい者の就労状況は。</p> <p>② 障がい者作業所への財政支援状況は。</p> <p>③ 障がい者の自立支援は。</p> <p>④ 市における障害者優先調達推進法の推進状況と今後の取り組みは。</p>
市長	音声コードの活用について	<p>本市では視覚障がい者のための「活字文書読み上げ装置」が設置されており音声コードをかざせば自動的に音声に変換しそこに書かれている文書を読み上げてくれる。しかし、その後の技術開発により、より多くの情報を提供できる音声コードが開発されている。</p> <p>CODE-EXといわれるこの音声コードは多言語に対応しており今後はあらゆる分野での利用が期待されている。この技術を本市での国際観光施策のツールとして研究すべきと考えるがいかがか。</p>

一般質問通告書

下記のことについて、嬉野市議会会議規則第61条第2項の規定により一般質問の通告をいたします。

平成 28 年 2 月 22 日

通告者(議席番号 1 番)

生田 健児

嬉野市議会議長 様

記

質問の相手	質問の事項	質問の要旨
市長	民泊について	<p>マッチングサイト等を介して民泊が世界的に盛んになってきており、大阪府では昨年10月27日に全国初となる民泊条例案が可決され、福岡市においてもコンサート客に対応するため試験的に民泊を導入するなど様々な動きが見られる。観光の街、嬉野としての民泊についての考えを伺う。</p>
市長	コンパクトシティ化への取り組みについて	<p>人口が減り続ける嬉野市におけるコンパクトシティ化への取り組みについて、また市行政の合理化への取り組みについて伺う。</p> <p>① 将来に向けて、現在ある施設の統廃合についてどのように考えているか。</p> <p>② 市行政の合理化・集約化については、どのような考えを持っているか。</p> <p>③ ICT技術を用いた合理化、効率化についての考えを伺う。</p> <p>④ エコの観点からのコンパクトシティ化への取り組みについての考えを伺う。</p>

一 般 質 問 通 告 書

下記のことについて、嬉野市議会会議規則第61条第2項の規定により一般質問の通告をいたします。

平成28年2月22日

通告者(議席番号 17 番) 山口 要

嬉野市議会議長 様

記

N0. 1

質問の相手	質 問 の 事 項	質 問 の 要 旨
市 長	財政問題について	<p>1. 財源問題について</p> <p>① 政府は2016年度予算案で、地方交付税の特例措置「別枠加算」を廃止する方針とのことである。本市に与える影響はどうか。</p> <p>② 「臨時財政対策債」についても、大幅に圧縮される予定である。今後の財政運営をどのように図っていく考えか。</p> <p>2. 財務書類について</p> <p>① 次年度までに、すべての地方公共団体が統一的な基準による財政書類を作成するようになっているが、本市の取り組み状況はどうか。</p> <p>② 新基準では新たな固定資産台帳や、複式簿記等、専門的な知識が必要となってくる。現状での対応は可能か。また今後について税理士を任期付職員として採用することも検討する考えはないか。</p>
市 長	総務問題について	<p>1. 法制問題について</p> <p>① 以前提案した弁護士の任期付職員について、その後どう検討したか。</p> <p>② 職員一人ひとりの法制執務能力の向上を目指す意味で職員向けの「法制執務ニュース」の発行を考えてはどうか。</p> <p>2. 災害問題について</p> <p>① 大規模災害時に自治体の機能をどう維持するかを定めた「業務継続計画(BCP)」の策定については、どのようなになっているか。</p> <p>② 政府は計画作りの要点をまとめた手引書を発行しているが、取り寄せているか。</p>

質問の相手	質問の事項	質問の要旨
市長	新幹線関連問題について	<p>3. 安全なまちづくりについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 安全・安心なまちづくりを進めるためにも「安全・安心まちづくり条例」の制定を検討してはどうか。 ② 国際規格「セーフコミュニティ」の認証取得に向けて取り組む考えはないか。 <p>4. 政策問題について</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 地域経済の活性化と、官学連携を図る意味で全国の大学生を対象にしたビジネスコンテストの実施を検討してはどうか。 ② 行政需要の多様化に伴い、広く市民のニーズに対応していくため、「政策専門委員」を非常勤特別職として設置する考えはないか。 <p>1. 新幹線開業問題について</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 全面開業が当初予定より3年遅れの2025年春以降になるとの見通しである。このことについて、今後どう対応していくのか。 ② 開業遅れに伴い、駅前開発等含めてどのような影響が生ずると考えているか。 <p>2. 医療センター移転・跡地活用について</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 現在の予定では、2017年建設、2018年完成移転の予定となっているが、この計画通りの予定で進んでいくのか。 ② この問題について医療センター関係者との話し合いはなされているか。 ③ この問題における、現在の対応状況はどうか。 ④ 今後の活用について、庁舎内にプロジェクトチームを編成して検討する考えはないか。 ⑤ 活用事例として、岩手県紫波町のオガール地区も参考になるのではないか

質問の相手	質問の事項	質問の要旨
市長	企画問題について	<p>1. 定住促進について</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 現在における移住は、どのような状況か。 ② 「住みたい田舎ランキング」に本市はエントリーしたか。したとするならば、結果としてどれ位か。また、していないとすればその理由は。 ③ 情報発信手段として、観光や移住ツアーも検討してはどうか。 ④ 企業誘致に関連した人材誘致ということも一考ではないか。 <p>2. 情報発信について</p> <ul style="list-style-type: none"> ① PR動画の今後の展開について、どのように考えているか。 ② エフエム佐賀に、多久・小城・神崎市等が番組をもっている。本市も検討してはどうか。 <p>3. ふるさと納税について</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 納税者に対して、お返し商品のみでなく、特色ある事業企画について検討した経緯があるか。 ② 企業版ふるさと納税についての取り組み状況はどうか。
市長	観光問題について	<p>1. 旅館経営問題について</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 温泉旅館が破産し、また他の旅館においても地元資本から域外資本に譲渡される動きが相次いでいる。このような状況をどう把握し考えているか。 ② 旅館組合との定期的な話し合いは持たれているか。 <p>2. 忍者交流について</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 「日本忍者協議会」のその後の動きと今後の活動予定はどうか。 ② 忍者人気を活かすために必要なことは、目先の集客効果に幻惑されぬ的確なニーズの把握と情報発信であるが、このことについての考え方はどうか。 <p>3. 今後の観光対策問題について</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 現在、宿泊を含めた観光客が戻りつつあるが、今後一層の対策が必要となってくる。具体的施策としてどのように考えているか。 ② 「肥前窯業圏」日本遺産申請について、本市の関わりはどうか。

質問の相手	質問の事項	質問の要旨
市長	福祉問題について	<p>1. 視覚障がい者問題について</p> <p>① 障がい者の「日常生活用具給付」の対象は、県内各市町と比較してどのような状況か。</p> <p>② 日本盲人会連合会の研修会に参加した経緯はあるか。</p> <p>③ 本市において「点字変換器」の要望はなかったか。</p> <p>2. 「障害者差別解消法」について</p> <p>① この法案が、本年4月より施行される。今後どう取り組んでいく考えか。</p> <p>② この法案においてボランティアの手を必要とされるが、日本財団と鳥取県の取り組みを研究してはどうか。</p> <p>3. 民生委員対策について</p> <p>① 民生委員の抱えている問題は、どのような事例があるか。</p> <p>② 行政として、民生委員への関わりはどうか。</p> <p>4. 福祉総合窓口について</p> <p>① 本市の福祉窓口サービスについて、市民からの不満や問題点はないか。</p> <p>② 佐賀市が今回始める新システムについてどのように受けとめ、今後の展開について、どう考えているか。</p>
市長 教育長	教育問題について	<p>読書問題について</p> <p>① 本市における、小中学校生の読書状況はどうか。</p> <p>② 北九州市は「読書好きな子ども日本一」の実現を目指し、各種施策に取り組んでいる。本市も検討する考えはないか。</p> <p>③ 佐賀県は2015年4月以降に刊行された児童書をすべて購入し、県内各市町村でも利用できるようになっているが、知り得ているか。</p> <p>④ 本が好きな小中学生に、ほかの子供に読書を広める活動のリーダー役となってもらい「子ども司書」の取り組みがある。本市でも取り組む考えはないか。</p> <p>⑤ ビブリオバトルが新年度からの中学校の国語教科書に掲載されることになっている。以前質問したが、その後どう検討したか。</p>